

サンガーデン便り

平成28年10月号



苫小牧市サンガーデン
〒053-0011
苫小牧市末広町3丁目1番15号
☎0144-33-4411

館内の見どころ

9月末からキンモクセイが開花し、良い香りを放っています。生け垣の茶の木に白い花が咲いています。大きくなった甘夏、温州ミカン、バンペイユ、柿、バナナの実を観賞できます。

園芸講座・展示会の開催 (場所: 1階展示実習室)

10月22日(土)、盆栽講習会「寄植え盆栽の楽しみ方」

10月29日(土)～30日(日)、苫小牧蘭友会「苫小牧洋ラン展」、午前10～午後4時



10月の園芸作業

10月になると朝晩の気温が一気に下がり、中旬には初霜を迎えます。戸外で管理していた鉢花は適期に室内に取り込みましょう。

☆球根類・鉢花 秋植え球根のヒヤシンス、クロッカス、ムスカリ、ユリは10月中に、チューリップやアイリスは11月上旬までに植えます。クロッカスは5cm、チューリップ、スイセンは10～15cm、ユリは20～25cmの深さを目安に植えます。戸外で管理していた鉢花は順次室内に取り込みます。しかし、クジャクサボテンは花芽分化に5～6℃の低温が必要です。クンシランは7～8℃の低温に3週間あわせないと花茎が伸びず、葉の中で開花することがあります。このような植物は、霜よけしながら中旬まで戸外に置くか、室内に取り込んだ場合は暖房のない明るい部屋でしばらく管理します。カラコエ、ポインセチア、シャコバサボテンなどの短日植物は、室内に取り込み後に夕方5～6時から翌朝8～9時まで暗くする「短日処理」を40日程度行い、早く花を咲かせましょう。

☆家庭菜園 グリーンアスパラガスやダイコンなどの茎葉残渣はすき込まず、畑の外に出し集めて堆肥にします。来年にネギやタマネギを植える予定の畑には、春のタネバエ被害防止のため、秋の内に完熟堆肥をまきスコップで深く耕しておきます。

☆洋ラン ラン類が花を咲かせる準備を始める時期なので、これからは肥料を施さず、水やりの間隔を徐々に長く空け乾き気味に管理します。カトレアの秋から冬に開花する品種は、シースが現れてきたら支柱を立て誘引し、鉢内を乾き気味に管理します。コチョウランは最低気温15℃を維持し、室内が乾燥している場合は「霧吹き」し湿度を高めてあげます。デンドロビウム(ノビル系、ギンギアナム系)は、3週間ほど5～6℃の低温にあわせ鉢を乾かす低温乾燥処理で花芽が分化します。室内取り込みを遅めたり、暖房の無い涼しい部屋の窓辺に置くと良いでしょう。シンビジウムは室内窓辺に取り込み、光と水を与えて育てます。7℃以上で管理すれば花芽が育ち早く開花しますが、5～6℃位では花芽の生長が停止し翌春の開花となります。

☆庭木 カエデ類は落葉したら剪定の時期です。大枝の切り戻しをする場合は、切り口に癒合剤を塗っておきます。ボタン、フジ、ボケなどは落葉後花芽を確認しながら整枝・剪定を行います。

苫小牧の気象

10月の太平洋側は、平年同様晴れの日が多く、気温は平年並みか高く、降水量と日照時間は並みと予想されています。晴れた日の夜は霜に注意しましょう。

